

# 講 義 要 項

授業科目	公衆衛生学			担当者	安藤 哲夫
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	15 時間	講義		2年次・前期
授 業 目 標					
公衆衛生の概要と動向を学び、社会における組織的な保健活動が理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 公衆衛生学とは	公衆衛生学の概要について理解できる。	1. 公衆衛生学の概要	2		講義
2. 健康の概念と主観的健康観	健康の概念及び主観的健康について理解を深めることができる。	1. 健康の概念 2. 主観的健康とは 3. ヘルスプロモーションとは			
3. 公衆衛生の技術	疫学調査と健康指標、健康教育の必要性について理解できる。	1. プライマリ・ヘルスケアの4原則 2. 生命倫理の4原則 3. 疫学と健康指標 4. 新しい健康教育 日常生活習慣と健康支援	4		講義
4. 自助・公助・共助とは	自助・公助・共助の考え方や地域包括ケアシステムとの関係性について理解できる。	1. 自助・公助・共助の考え方 2. 自助・公助・共助と地域包括ケアシステム	2		講義
5. 保健活動の基盤となる法や施策	様々な保健制度の概要とについて理解を深めることができる。	1. 母子保健 2. 老人保健 3. 精神保健 4. 地域保健 5. 学校保健	6		講義
修得試験			1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(2), 公衆衛生, 医学書院. 2. 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会.				
評価	1. 単位修得試験 95% 2. 出席状況、提出物 5%				
備考	実務経験：公衆衛生分野の研究者としての豊富な知識をもとに、授業を行う。				